

授業科目	教育原理				単位	2		
履 修	選択	関連資格	保育士		ナンバリング	WE21604J		
開講年次	2	開講時期	後期	該当DP	DP1-1 DP3-1 DP3-2			
担当教員	杉谷 修一							
授業概要	この講義は教育に関する基礎的概念、理論、歴史および現代的諸課題について学び、教育に関する体系的知識の習得を目指すものである。これらの学習を通じて、教育の意義・目的についての理解を深め、幼児教育を志す者に不可欠な教育的な思考と態度を習得させる。この授業は遠隔授業として実施する。							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 教育の意義と目的について説明できる。 2. 教育の基礎的概念と諸理論を理解できる。 3. 日本および諸外国の教育制度を理解できる。 4. 生涯学習社会に向けた教育のあり方を理解できる。 5. 現代社会における教育問題を理解できる。 6. 1から6の項目について、特に幼児教育の領域に関して理解できる。 							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	100	0	0	0	0	0	100	
知識・理解 (DP1-1)	80		0				80	
知識・理解 (DP1-2)								
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)								
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)	10						10	
関心・意欲 (DP3-2)	10						10	
態度(DP4-1)								
態度(DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
<ol style="list-style-type: none"> 1. 教育の意義と目的について説明できる。 2. 教育の基礎的概念と諸理論を歴史的な文脈に位置づけて理解し、現代の教育実践を説明できる。 3. 日本および諸外国の教育制度の多様なあり方を理解できる。 4. 生涯学習社会に向けた教育のあり方を理解し、具体的な教育政策や教育実践と関連づけることができる。 5. 現代社会における教育問題を自己の経験や身の回りの事象と関連づけながら理解できる。 6. 1から6までの項目について、特に幼児教育の領域に関し発展的な理解ができる。 				<ol style="list-style-type: none"> 1. 教育の意義と目的について簡単に説明できる。 2. 教育の基礎的概念と諸理論の基礎を理解できる。 3. 日本および諸外国の教育制度を簡単に理解できる。 4. 生涯学習社会に向けた教育のあり方の概要を理解できる。 5. 現代社会における教育問題の概要を理解できる。 6. 1から6の項目について、特に幼児教育の領域に関し基礎的な理解ができる。 				

授業計画				
進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	テーマ:教育とは何か 教育の意味について、動物としての人間・社会的存在としての人間・文化的存在としての人間という角度から多面的に理解する。	講義	授業内容の定着を図る。	60
2	テーマ:諸外国の教育制度 諸外国における就学前教育から高等教育までの教育制度の特徴を理解する。	講義	授業内容の定着を図る。	60
3	テーマ:日本の教育制度 諸外国の教育制度と比較しながら、日本の教育制度の特徴を理解する。	講義	授業内容の定着を図る。	60
4	テーマ:西洋教育の歴史(1) 古代～前近代にかけて西洋教育の歴史を概観し、社会のあり方と教育思想の関係について理解する。	講義	授業内容の定着を図る。	60
5	テーマ:西洋教育の歴史(2) 近代以降の西洋教育の歴史を概観し、社会のあり方と教育思想の関係について理解する。	講義	授業内容の定着を図る。	60
6	テーマ:日本の教育の歴史(1) 古代～前近代にかけて我が国の教育の歴史を概観し、社会のあり方と教育思想の関係について理解する。	講義	授業内容の定着を図る。	60
7	テーマ:日本の教育の歴史(2) 近代以降の我が国の教育の歴史を概観し、社会のあり方と教育思想の関係について理解する。	講義	授業内容の定着を図る。	60
8	テーマ:幼児教育の歴史(1) 古代～前近代の幼児教育の歴史を概観し、その特徴を理解する。	講義	授業内容の定着を図る。	60
9	テーマ:幼児教育の歴史(2) 近代以降の幼児教育の歴史を概観し、その特徴を理解する。	講義	授業内容の定着を図る。	60
10	テーマ:教育法規と教育行政 教育制度は教育行政と教育法規の運用によって初めて機能することを日本及び諸外国の例を通じて理解する。	講義	授業内容の定着を図る。	60
11	テーマ:生涯学習社会(1) 生涯学習の歴史を概観し、その特徴を理解する。	講義	授業内容の定着を図る。	60
12	テーマ:生涯学習社会(2) 我が国における生涯学習の位置づけを理解し、生涯学習社会の実現に向けた取組を知る。	講義	授業内容の定着を図る。	60
13	テーマ:現代の教育課題(1) いじめ、不登校を中心に教育課題と対応について検討する。	講義	授業内容の定着を図る。	60
14	テーマ:現代の教育課題(2) 子どもの貧困を中心に教育課題と対応について検討する。	講義	授業内容の定着を図る。	60
15	テーマ:テストとまとめ 定期試験を実施し、ポイントの解説と授業全体の振り返りを行う。	講義(試験を含む)	授業内容の定着を図る。	60
16				

17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	日本史や世界史の大きな流れを理解しておくことで、時代や社会の変化の中で教育がどのように変化する、現代へとつながっていくかをより深く理解できる。			
テキスト	勝野正章、庄井由信『問いからはじめる教育学』有斐閣、2015 その他、レジュメ、プリント、スライド資料、映像資料等を用いて授業を行う。			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	文部科学省『学制百年史』 国立教育政策研究所『我が国の学校教育制度の歴史について』 文部科学省「諸外国の教育統計」 文部科学省『令和3年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果について』 内閣府『令和3年子供の生活状況調査の分析 報告書』 米国国務省国際情報プログラム局『早わかり「米国の教育」』 その他、授業中に指示する。			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	誰でも自分だけの教育経験をもっています。それは友人や家族のものとも共通するところもあれば、異なっていることもあります。学校、教師、子どもなどについてイメージだけで決めつけずに、様々な角度から特徴を理解することが大切です。そのために思想や歴史、制度についての学問を活用して下さい。 また、普段から疑問に思っていることやこうであればいいのにといい思いを手がかりに、現代の教育課題を考えてみて下さい。みなさんたちの率直な疑問や意見を反映しながら授業を進めていきたいと考えています。			
達成度評価に関するコメント	試験範囲や内容については授業中に指示する。			